



三浦市議会だより

第 110 号
平成25年(2013年)2月1日
編集：議会だより編集委員会
発行：三浦市議会
〒238-0298
神奈川県三浦市城山町1番1号
☎ 046(882)1111内線462・463



三浦の冬の風物詩 ～ 三浦海岸の浜辺で大根の天日干し ～

第4回定例会

市役所の機構改革に向けた条例案を可決 市議会委員会条例、会議規則を改正

定例会の経過と概要

月日	曜日	会議名	内容
12月3日	月	本会議	会期の決定、一般質問
4日	火	本会議	一般質問
5日	水	本会議	一般質問、議案の審議(説明・委員会付託)
6日	木	総務経済常任委員会	議案・陳情の審査
7日	金	都市厚生常任委員会	議案・陳情の審査
11日	火	議会基本条例策定等特別委員会	議会基本条例策定等に関する審査
		財政問題等特別委員会	三浦市の財政問題等に関する審査
13日	木	本会議	議案の審議(総務経済・都市厚生の各委員長報告・採決)、委員会提出議案(説明・採決)、意見書案、人事案件(人権擁護委員)、閉会中継続審査申し出、報告

平成二十四年第四回定例会は、十二月三日から十三日までの十一日間を会期として開かれました。

今定例会では、市税条例や部設置条例の改正、各会計補正予算など、市長より提出された二十五議案を審議し、可決・承認しました。

そのほか、陳情の審査に伴い提出された意見書案や、議会運営委員会より提出された委員会条例改正案などを可決しました。

〈議会だより第110号の内容〉

定例会の経過と概要	1面
常任委員会の審査	2面
陳情	3面
一般質問	3～6面
議会基本条例策定等特別委員会	6面
可決した意見書	7面
行政視察報告	7面
議会の活動から	7面
委員会条例等の一部改正	8面
人事	8面
議会を傍聴しませんか	8面
議案等の審議結果	8面

常任委員会

議案の審査概要

総務経済

◎専決処分の承認を求め
ることについて

本案は、衆議院議員総
選挙に係る予算につき急
施を要したため、専決処
分したものです。
(質疑は特にありません
でした)

◎三浦市部設置条例等の
一部を改正する条例

本案は、平成二十五年
四月一日の機構改革に伴
い、部名の変更等を行う
ものです。
(質疑の主な項目)
・福祉と教育の連携強化
について

◎三浦市職員の旅費に関
する条例等の一部を改正
する条例

本案は、職員の旅費や
証人等の実費弁償などの
うち、日当について廃止
するものです。
意見 証人等に対する日
当は、裁判の参考人等に
支払われる日当のような
意味合いを持つものであ
り、何らかの手当は必要
ではないか。

◎三浦市市税条例の一部
を改正する条例

本案は、防災施策の財

源確保を目的とした個人
市民税の税率引き上げや、
下水道除害施設に係る固
定資産税の軽減割合等に
ついて定めるものです。
意見 税率引き上げによ
る増収分が防災施策以外
の目的に利用される可能
性があるため反対する。

都市厚生

◎三浦市奨学金貸付条例
の改正

本案は、大学生への奨
学金貸し付けに関する事
項を定めるものです。
(質疑の主な項目)
・奨学金の返済で滞納が
生じた事例について
・連帯保証人に関する規
定を設けた経緯につい
て

◎三浦市小規模水道及び
小規模受水槽水道におけ
る安全で衛生的な飲料水
の確保に関する条例

本案は、小規模水道等
の管理などについて定め
るものです。
(質疑の主な項目)
・小規模水道等に該当す
る施設について

◎三浦市指定地域密着型
サービスに関する基準を
定める条例

本案は、指定地域密着
型サービスに関する基準

◎三浦市河川管理施設等
の構造の技術的基準を定
める条例

本案は、市が管理する
準用河川の河川管理施設
等の構造基準を定めるも
のようです。
(質疑の主な項目)
・市内の準用河川に堤防
等の設置が想定される
ケースについて

◎三浦市立児童館条例の
一部を改正する条例

本案は、三浦市立児童
館のうち、東岡児童館を
廃止するものです。
(質疑の主な項目)
・廃止に伴う維持管理費
等の削減額について
・東岡児童館に保管さ
れている備品の取り扱い
について

◎三浦市市道の構造の技
術的基準及び市道に設け
る道路標識の寸法を定め
る条例

本案は、市道の構造の
技術的基準及び道路標識
の寸法を定めるものです。
(質疑の主な項目)
・歩道の幅員の確保につ
いて
・道路標識の設置者につ
いて

◎三浦市立児童館条例の
一部を改正する条例



東岡児童会館

整備基準や入居者資格の
特例を定めるものです。
(質疑は特にありません
でした)

◎三浦市火葬場条例の一
部を改正する条例

本案は、三浦市火葬場
の市外からの利用者に係
る利用料金の上限額を改
めるものです。
(質疑の主な項目)
・料金改正による増収見

◎三浦市老人福祉保健セ
ンター条例の一部を改正
する条例

本案は、三浦市老人福
祉保健センターの利用料
金の徴収区分及び上限額
を改めるものです。
(質疑の主な項目)
・利用料として二百円を
徴収することとした根
拠について

◎三浦市立児童館条例の
一部を改正する条例

本案は、三浦市立児童
館のうち、東岡児童館を
廃止するものです。
(質疑の主な項目)
・廃止に伴う維持管理費
等の削減額について
・東岡児童館に保管さ
れている備品の取り扱い
について

込みと指定管理料への
影響について
・他市の火葬場を利用す
る際の料金について

◎三浦市海業施設条例の
一部を改正する条例

本案は、海業施設のう
ち、みさき海業センター
を廃止するものです
(質疑の主な項目)
・みさき海業センターの
譲渡先について

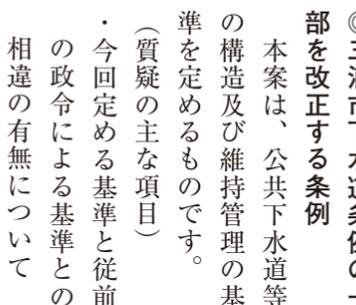
◎三浦市老人福祉保健セ
ンター条例の一部を改正
する条例

本案は、三浦市老人福
祉保健センターの利用料
金の徴収区分及び上限額
を改めるものです。
(質疑の主な項目)
・利用料として二百円を
徴収することとした根
拠について

◎三浦市立児童館条例の
一部を改正する条例

本案は、三浦市立児童
館のうち、東岡児童館を
廃止するものです。
(質疑の主な項目)
・廃止に伴う維持管理費
等の削減額について
・東岡児童館に保管さ
れている備品の取り扱い
について

◎三浦市立児童館条例の
一部を改正する条例



三浦スポーツ公園

・施設の譲渡に伴い使用
が見込まれる土地の貸
付料について

◎平成二十四年度三浦市
一般会計補正予算(第五
号)

本補正は、歳入歳出そ
れぞれ二億四百九十九万三
千円を追加し、歳入歳出
予算の総額を百六十一億
一千三十九万五千円とす
るものです。

◎三浦市水道事業給水条
例の一部を改正する条例

本案は、布設工事監督
者を配置すべき工事など
を定めるものです。
(質疑の主な項目)
・今回定める基準と従前
の相違の有無について

◎平成二十四年度三浦市
国民健康保険事業特別会
計補正予算(第一号)

本補正は、歳入歳出そ
れぞれ九千二百九十五万
円を追加し、歳入歳出予
算の総額を七十億六万五
千円とするものです。
意見 後期高齢者医療事
業にかかわる予算を計上
している点について、後
期高齢者医療制度に反対
していることから認める
ことができない。

◎三浦市下水道条例の一
部を改正する条例

本案は、公共下水道等
の構造及び維持管理の基
準を定めるものです。
(質疑の主な項目)
・今回定める基準と従前
の政令による基準との
相違の有無について

(質疑の主な項目)
・市道十八号線整備事業
の進捗状況について
・市債の借りかえによる
利子の削減額について

◎平成二十四年度三浦市
市場事業特別会計補正予
算(第一号)

本補正は、歳入歳出そ
れぞれ四百五十五万四千
円を追加し、歳入歳出予
算の総額を四億七千四百

◎三浦市水道事業給水条
例の一部を改正する条例

本案は、布設工事監督
者を配置すべき工事など
を定めるものです。
(質疑の主な項目)
・今回定める基準と従前
の相違の有無について

◎平成二十四年度三浦市
国民健康保険事業特別会
計補正予算(第一号)

本補正は、歳入歳出そ
れぞれ九千二百九十五万
円を追加し、歳入歳出予
算の総額を七十億六万五
千円とするものです。
意見 後期高齢者医療事
業にかかわる予算を計上
している点について、後
期高齢者医療制度に反対
していることから認める
ことができない。

◎三浦市下水道条例の一
部を改正する条例

本案は、公共下水道等
の構造及び維持管理の基
準を定めるものです。
(質疑の主な項目)
・今回定める基準と従前
の政令による基準との
相違の有無について



みさき海業センター

万八千円とするものです。
(質疑は特にありません
でした)

◎平成二十四年度三浦市
介護保険事業特別会計補
正予算(第二号)

本補正は、歳入歳出そ
れぞれ二百九十四万四千
円を減額し、歳入歳出予
算の総額を四十一億一千
九百八十一万八千円とす
るものです。
(特に質疑はありません
でした)

◎平成二十四年度三浦市
公共下水道事業特別会計
補正予算(第一号)

本補正は、歳入歳出そ
れぞれ四百四十四万九千
円を減額し、歳入歳出予
算の総額を九億一千九百
七十九万六千円とするも
のようです。
(質疑の主な項目)
・一般管理費における公
課費の増額について

◎三浦市下水道条例の一
部を改正する条例



常任委員会での陳情の審査結果

12月定例会では、新たに提出された陳情及び継続審査中の陳情、あわせて6件について、総務経済、都市厚生各常任委員会において審査を行いました。

今回審査を終えた陳情は、次のとおりです。
そのほかの2件は、引き続き審査を行ってまいります。

所管委員会	件名	結果
総務経済	三浦市議会だよりについて陳情書	審議未了
都市厚生	安全・安心の医療・介護実現のための夜勤改善・大幅増員を求める陳情	了承できるもの
	介護職員処遇改善加算の継続、拡充の国への意見書提出を求める陳情	
	社会福祉関係の県単補助制度などの廃止に反対し、継続を求める意見書の提出を求める陳情	

新たに提出された陳情

◎三浦市議会図書室についての陳情書

趣旨 本陳情は、地方自治法で定められている議会図書室の設置義務を踏まえ、三浦市議会において図書室を新設、充実することを求めています。

◎介護職員処遇改善加算の継続、拡充の国への意見書提出を求める陳情

趣旨 本陳情は、介護職員の人材確保を図るため、介護職員処遇改善加算を継続、拡充するよう国に意見書を提出することを求めています。

◎安全・安心の医療・介護実現のための夜勤改善・大幅増員を求める陳情

趣旨 本陳情は、安全・安心な医療・介護を実現するため、医師、看護師、介護職員の大幅増員と労働環境の改善を行うよう国に意見書を提出することを求めています。

◎社会福祉関係の県単補助制度などの廃止に反対し、継続を求める意見書の提出を求める陳情

趣旨 本陳情は、民間の福祉・保育施設などへの補助金を廃止しないよう、県に意見書を提出することを求めています。

一般質問 ~質問と答弁の要旨~

一般質問とは、市政全般にわたって報告や説明を求めたり、疑問をたずねることをいいます。
今定例会では、12人の議員が市政運営について市側の考えをたずねました。

高齢者ふれあいセンター

地域防災計画、「こみ収集日」
日本共産党 立本 眞須美

【質問】三浦市高齢者ふれあいセンターでは、ふれあいサロン事業を実施しており、高齢者の介護予防などの場として非常に重要な施設となっている。

今後の管理運営方針については、市は前定例会において、慎重に検討すると答弁した。利用者からはふれあいサロンの活動が続けられるの心配する声もある。現在の検討状況を伺いたい。

【保健福祉部長】現在、ふれあいセンターは指定管理

計画への記載を
【質問】原子力規制委員会

は、福島第一原発の事故を受け、原子力災害対策重点区域を原発の半径三十キロ圏に拡大した。米軍横須賀基地に停泊する原子力艦船で事故が

【市民説明会】
【質問】現在、こみ収集日



高齢者ふれあいセンター

理者である三浦市社会福祉協議会に譲渡する方向で協議しており、今年度中には管理運営方針を決定する考えである。また、ふれあいサロン事業は、高齢者にとって欠かせないものと捉えており、継続を前提に協議を進めている。

【市長】県及び横須賀市の原子力災害対策計画等を参考に避難計画などを定める必要があると認識している。地域防災計画への記載方法や内容等については、県などの意見も聞いた上で検討したい。

新たな財政推計の作成

新消防庁舎、岸壁での釣り禁止
フォーラムみうら 寺田 一樹

【質問】本市では、平成二十一年度の緊急緊縮財政

宣言の発表以来、幾つもの歳入確保策などを実行しているが、今後も厳しい財政運営が予想される。中長期を見据えたまちづくりは確かな財政推計がなければ成り立たない。現在の財政推計は作成から二年が経過しており、作成当時と現在の状況は変化が生じている。新たな財政推計が必要なのではないか。

【質問】三崎地区の消防体制

計画では、栄町にある消防本部と引橋分署を統合して、三高跡地に新庁舎を建設する予定である。新庁舎への統合後、地震により引橋が崩壊した場合の消防体制について、どのように考えるか。

【消防長】引橋は、その形状から通行不能となる危険性は低いと認識しているが、最悪の事態を想定

【市長】現在、第四次総合

計画の次期実施計画策定作業とあわせて財政推計の作成を進めており、本年度中には公表する予定である。

【質問】神奈川県は、花暮り組みだと考えている。船舶接岸時等のトラブルの発生防止に取り組むことは、観光や漁港振興などの面からも有効な取り組みだと考えている。



三浦市消防本部(栄町)

う説明会を開催しているが、その状況は。

【環境部長】十一月末日に

【市長】今回の釣りは、禁止については、県から、三崎漁港独自のルールを定め、マナーアップ

安全・安心な通学路

LED 照明、二町谷埋立地
公明党 藤田 昇

質問 平成二十四年七月に小学校の通学路において緊急合同総点検を実施し、その結果、特に危険と思われる箇所として十二カ所が選定された。

市長 安全対策を実施する際には、予算の問題もあることから、優先順位を明確にして進めることが重要だと考える。今後、どのような計画を持って対策を進めるのか。
教育長 安全対策を実施するためには、予算確保は不可欠な要素である。

整備に必要な費用を算定し、関係機関と協議して、計画を策定したい。

質問 リース方式の活用
質問 公共施設の照明を LED 化することにより、節電や財政負担の軽減を図ることができる。

市長 神奈川県では、リース方式を活用して LED 照明を導入しており、リース料は電気料金の削減分で賄うことができると聞く。本市でもリース方式による導入を検討してはどうか。
市長 LED 照明は、普及に伴い導入費用が低下しており、積極的な導入を検討できる環境になつてきていると思う。市の財政状況は厳しいが、今後、検討を進めたい。また、市の地球温暖化対策実行計画の改定に当たっては、LED 照明の導入促進を明記し、市役所全体で取り組むたい。



PTA等による通学路の安全点検

地域共生ケア

ごみの減量化、スポーツ施設
みうら市政会 出口 眞琴

質問 先日、富山県富山市を訪問し、富山型デイサービスについての視察を行った。

市長 富山型デイサービスは、年齢や障害の有無を問わず、誰もが自宅のように生活を送ることができるとのこと。富山型デイサービスは、富山型デイサービスに関する情報収集を行い、研究をしていきたい。

出させるものである。家族、地域の力は三浦市にとって何よりの財産であり、今後、富山型デイサービスに関する情報収集を行い、研究をしていきたい。

質問 富山型デイサービスは、年齢や障害の有無を問わず、誰もが自宅のように生活を送ることができるとのこと。富山型デイサービスは、富山型デイサービスに関する情報収集を行い、研究をしていきたい。



ごみダイエットに協力を!

災害時の応援協定

誘客活動、オークション
無所属 出口 正雄

質問 南関東で東日本大震災のような巨大地震が発生した場合、国・県などからの応援物資が三浦市に迅速に提供されるか疑問を感じる。

市長 半島の先端という本市の特性を考えたときに、漁港を持つ都市と災害時の応援協定を締結しておくことは非常に有効な手段ではないか。

市長 海上を利用した物資や人の輸送は、東日本大震災でも大変重要な手段であったと思う。

市長 他市の事例等を研究しながら、どのような自治体と応援協定を結ぶべきか検討していきたい。

質問 新たなターゲットを
質問 本市を訪れる多くの自家用車や観光バス等の中で、大宮ナンバーの車が目立つ。これは大宮駅で観光キャンペーンを集中的に行ってきた成果であり、大いに評価する。

市長 今後は、新たな観光客を誘致するため、次のターゲットを絞った誘客活動を展開してはどうか。
市長 他の自治体等と連携し、首都圏の鉄道各駅などでPRを行ってきた成果が出ていいると考える。今後も効果的なキャンペーンを検討し、実施していきたい。



大宮駅での観光キャンペーン

平和行政の取り組み

県営住宅、障害者支援
日本共産党 石橋 むつみ

質問 ①十一月に開催された、みうら市民まつりでは、平和行政に関するブースが設けられていた。

市長 今年度、通常は廃車にするような車両を出品したところ、応札があり、処分費用の軽減につながった実績もある。先入観にとらわれず、今後も官公庁オークションを積極的に活用して、財源対策の一助としたい。

市長 ①市民まつりでの平和行政に関する展示は、今年度で三回目になる。

市長 市民が住宅に困窮する状況が少なくない。市民の住まいを守るため、市として県営住宅の存続について、県に意見を述べてほしい。

市長 市民が住宅に困窮する状況が少なくない。市民の住まいを守るため、市として県営住宅の存続について、県に意見を述べてほしい。

市長 市民が住宅に困窮する状況が少なくない。市民の住まいを守るため、市として県営住宅の存続について、県に意見を述べてほしい。



県営上宮田団地

公用車の事故

空き家増加への対策を
フォーラムみうら 北川 年一

質問 市議会では、公用車の交通事故発生について報告を受けることがありますが、統計的に本市の公用車の事故が多いのか少ないのかを確認したい。

市議会では、公用車の交通事故発生について報告を受けることがありますが、統計的に本市の公用車の事故が多いのか少ないのかを確認したい。

市議会では、公用車の交通事故発生について報告を受けることがありますが、統計的に本市の公用車の事故が多いのか少ないのかを確認したい。

市議会では、公用車の交通事故発生について報告を受けることがありますが、統計的に本市の公用車の事故が多いのか少ないのかを確認したい。

行政管理局長 平成二十三年度の事故件数は、人身事故はゼロ件、物損事故は四件、自損事故は十六件であった。

また、事故発生リスクを評価する指標である事故率は、直近の三カ年平均

また、事故発生リスクを評価する指標である事故率は、直近の三カ年平均

また、事故発生リスクを評価する指標である事故率は、直近の三カ年平均

来年度の予算編成は

企業誘致、避難訓練
みうら市政会 草間 道治

質問 平成二十五年度予算編成方針では、約九億八千万円の財源不足が公表され、経常経費については前年度対比八〇%と、非常に大きな削減を行う方針となっている。

非常に大きな削減を行う方針となっている。

非常に大きな削減を行う方針となっている。

非常に大きな削減を行う方針となっている。

市長 通常の削減手法では二〇%の削減は達成できないと思っており、場合によっては事業の廃止も視野に入れたいと予算編成を切り切れないような状況である。

通常の削減手法では二〇%の削減は達成できないと思っており、場合によっては事業の廃止も視野に入れたいと予算編成を切り切れないような状況である。

通常の削減手法では二〇%の削減は達成できないと思っており、場合によっては事業の廃止も視野に入れたいと予算編成を切り切れないような状況である。

通常の削減手法では二〇%の削減は達成できないと思っており、場合によっては事業の廃止も視野に入れたいと予算編成を切り切れないような状況である。

市長 二町谷への企業誘致に力を入れている。交通安全の撲滅に向け、今後も注力したい。

二町谷への企業誘致に力を入れている。交通安全の撲滅に向け、今後も注力したい。

二町谷への企業誘致に力を入れている。交通安全の撲滅に向け、今後も注力したい。

二町谷への企業誘致に力を入れている。交通安全の撲滅に向け、今後も注力したい。

均が一・七%となった。

二町谷埋立地の売却

観光案内板、災害対策
日本共産党 小林 直樹

質問 土地開発公社解散に伴う借金の返済のため、三浦市の財政は非常に厳しい状態にある。しかし、この返済に回すための二町谷埋立地の売却は全く進んでいない。

土地開発公社解散に伴う借金の返済のため、三浦市の財政は非常に厳しい状態にある。しかし、この返済に回すための二町谷埋立地の売却は全く進んでいない。

土地開発公社解散に伴う借金の返済のため、三浦市の財政は非常に厳しい状態にある。しかし、この返済に回すための二町谷埋立地の売却は全く進んでいない。

土地開発公社解散に伴う借金の返済のため、三浦市の財政は非常に厳しい状態にある。しかし、この返済に回すための二町谷埋立地の売却は全く進んでいない。

市長 越波については重要事項として説明を行い、

越波については重要事項として説明を行い、

越波については重要事項として説明を行い、

越波については重要事項として説明を行い、

風致地区の見直し

市の基本姿勢と課題
フォーラムみうら 松原 敬司

質問 三浦市では現在、風致地区の見直しに取り組んでいる。

三浦市では現在、風致地区の見直しに取り組んでいる。

三浦市では現在、風致地区の見直しに取り組んでいる。

三浦市では現在、風致地区の見直しに取り組んでいる。

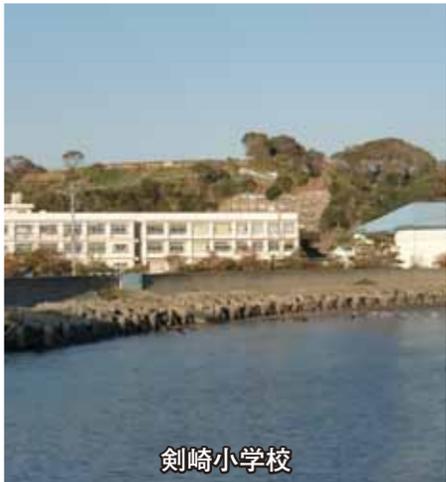
市長 市内の風致地区は、指定から長期間が経過し、社会環境も大きく変化を

市内の風致地区は、指定から長期間が経過し、社会環境も大きく変化を

市内の風致地区は、指定から長期間が経過し、社会環境も大きく変化を

市内の風致地区は、指定から長期間が経過し、社会環境も大きく変化を

均が一・七%となった。



剣崎小学校



市役所の公用車駐車場



三崎地区の観光案内版



下浦海岸風致地区

「子ども課」の設置

シティ・セールズ、防災訓練
みうら市議会 神田 眞弓

東京支店事業
千代田区神田

質問 今定例会では、市の機構改革に向けた議案が提出されている。

その中で、子育て支援策を担当する子育て支援課が「子ども課」に変更されることになったが、教育と福祉の連携はどのように進むのか。

保健福祉部長 子ども課は、現在の子育て支援課の業務に、幼稚園に關係する業務や障害児の療育関係業務などが統合されるもので、子育てに関するワンストップ相談窓口

にしたいと考えている。

大学側からも高い評価を得ているので、今後も継続してシティ・セールの拠点として展開したい。

市民への広報

質問 平成二十四年十月に上宮田小学校で総合防災訓練が、十一月には金田漁港内で消防総合訓練が展開された。

防災意識の向上を図る上で、こうした訓練を一人でも多くの市民に見学してもらうことが重要では

地方債償還により、市の財政負担は平成四十六年度まで続き、ピーク時は年間約三億円の負担が必要になると考えている。



総合防災訓練の様子(上宮田小)

ないか。
消防長 広報紙「三浦市民」や回覧板などで見学の呼びかけを行っているが、思うように見学者が集まらない状況がある。

市民の安心感や防災意識の啓発につながるよう、訓練の実施場所や時間帯、周知方法等をさらに工夫していきたい。

観光による市の活性化

「ごみ処理広域化、防災
みうら市議会 石原 正宣

質問 神奈川県の新たな観光の核づくり認定事業で、三浦市等が提案した構想が認定された。

この構想は、城ヶ島を中心に、観光客数の大幅増加により市の活性化を図ろうとするものであり、市としても重要事業と捉え、取り組むものと思いが、市長の考えは。

市長 この構想は民間資本、民間主導による実施が前提であり、行政施策としての考えは持っていないが、地域経済の発展

三浦市の事業費負担は横須賀市、三浦市のごみ処理広域化における事業費は、平成二十一年度の基本計画で示された額より約四十億円増加していると聞く。

質問 三浦市の事業費負担は横須賀市、三浦市のごみ処理広域化における事業費は、平成二十一年度の基本計画で示された額より約四十億円増加していると聞く。

事業費のうち、三浦市の総負担額はどのくらいで、財政負担の推移はどのようになるのか、お聞きしたい。

市長 施設整備の総額約三百三十二億円のうち、三浦市の負担額は約三十七億円と試算している。

三浦市の事業費負担は横須賀市、三浦市のごみ処理広域化における事業費は、平成二十一年度の基本計画で示された額より約四十億円増加していると聞く。

質問 三浦市を含む地域で大規模災害が起きた場合を想定して、災害時医療救護体制を構築、確立することは極めて重要である。

現在、三浦市地域防災計画の見直しを進めているが、災害時医療救護体制の構築に関し、市と市立病院の役割はどう考えられているのか。

三浦市を含む地域で大規模災害が起きた場合を想定して、災害時医療救護体制を構築、確立することは極めて重要である。

現在、三浦市地域防災計画の見直しを進めているが、災害時医療救護体制の構築に関し、市と市立病院の役割はどう考えられているのか。



城ヶ島の土産物店

議会基本条例策定等特別委員会

基本条例策定等特別委員会の審査の概要

議会基本条例策定等特別委員会は、平成二十四年十月十五日に第六回目、十一月十二日に第七回目、十一月十一日に第八回目の開催をしました。

委員会の中で交わされた議論や決定したことは、主に次のとおりです。

十月十五日の審査

- ・市民と議会の関係
- ・議会中継の手法としてユーストリームの導入を検討したい。
- ・条例には解説をつけ、運用基準も定めたい。
- ・当特別委員会の活動状況は、逐次、市議会ホームページで公表する。
- ・今後のスケジュール
- ・条例制定は、平成二十六年三月または六月を目指す。
- ・パブリックコメント(市民からの意見募集)は、条例全体がまとまってから行う。
- ・講師を招いての委員研修会を平成二十五年一月に実施する。

十一月十二日の審査

- ・議会運営と議員活動
- ・議会内での政策討論会は実施する方向で検討

十一月十一日の審査

- ・今後のスケジュール
- ・平成二十五年二月ごろに議会基本条例についての先進地視察を行うたい。

今後のスケジュール

- ・条例制定までの全体スケジュールを次回の委員会までに正副委員長等で作成したい。
- ・先進地への視察は、一月三十一日に京都府京丹後市を、二月一日に京都府木津川市を訪問することに決定した。

ページ等に結果報告を掲載することを提案したい。

議員間の自由討議を実施することについては、今後も議論を深めていきたい。

し、実施形態・手法は運用基準の中で定める。

議員間の自由討議は実施することとし、その手法については今後協議する。

十一月十二日の審査

十一月十一日の審査

十一月十二日の審査

十一月十三日の審査

十一月十四日の審査

十一月十五日の審査

十一月十六日の審査

十一月十七日の審査

十一月十八日の審査

十一月十九日の審査

十一月二十日の審査

十一月二十一日の審査

十一月二十二日の審査

十一月二十三日の審査

十一月二十四日の審査

十一月二十五日の審査

ホームページのご案内



三浦市議会のホームページでは、定例会の日程や議案の審議結果、提出した意見書、会議録の閲覧・検索など、議会に関する情報がごらんになれます。

議会基本条例策定等特別委員会については、次回の開催日やこれまでの審査経過など、最新の情報を随時掲載しています。



会議録検索システムによる会議録の閲覧

特別委員会のページ

★委員研修会を実施
一月十七日に、「議会基本条例に関する基本的な事項と考え方」をテーマに、全国市議会議長会より講師を招いて研修会を実施しました。



次回の委員会開催は、二月十二日(火)午前十時からです。ぜひ傍聴にお越しください。

安全・安心の医療・介護実現のため医師・看護師・介護職員などの大幅増員と夜勤改善を求める意見書

看護師などの労働時間については、業務の特性から長時間勤務となることが課題となっている。

また、全国各地で問題となっている医師、看護師、介護職員などの深刻な人手不足は、東日本大震災で改めて浮き彫りにされた。

安全・安心の医療・介護を実現するためには、医療・社会保障予算を増やし、医療・福祉の現場の労働環境を改善することが不可欠である。

よって、国においては、次の措置を講ずるよう強く求める。

- 1 看護師など夜勤交代制労働者の労働時間を1日8時間、週32時間以内、勤務間隔12時間以上とし、労働環境を改善すること。
- 2 医師、看護師、介護職員などを大幅に増員すること。

〈提出先〉内閣総理大臣 総務大臣 財務大臣 厚生労働大臣

社会福祉関係の県単独補助制度などの廃止に反対し、継続を求める意見書

神奈川県緊急財政対策本部は、県有施設や補助金・負担金の廃止などを検討する方針を打ち出したが、これらの廃止は民間社会福祉施設の運営や利用者サービスに大きな影響を及ぼす。

市民の生活や福祉を守る観点から社会福祉関係の県有施設と補助金は必要であり、神奈川県においては、次の措置を講ずるよう強く要望する。

- 1 民間社会福祉施設に対する運営費等の補助金は廃止しないこと。
- 2 民間保育所運営に関する補助金は廃止しないこと。
- 3 市町村への補助金・負担金の廃止及び削減は行わないこと。
- 4 福祉や保育労働者の人材確保にかかわる補助金は廃止しないこと。

〈提出先〉神奈川県知事

市議会は、市の公益にかかわる意見や希望を意見書として、内閣総理大臣、国会、関係行政庁に提出することができず、
今定例会で可決した三件の意見書の概要は次のとおりです。

可決した意見書

介護職員処遇改善加算の継続、拡充を求める意見書

介護サービスに従事する介護職員の賃金改善を目的とする介護職員処遇改善加算制度は、平成27年3月31日までの暫定的な措置となっている。

現在、超高齢社会を迎えているが、依然として介護職員の離職率は高く、介護事業者は介護職員の確保に苦慮している。介護崩壊をくい止め、安全で安心な介護を実現するためには、介護職員の確保に向け、賃金などの処遇改善が必要である。

よって、国においては、次の措置を講ずるよう強く求める。

- 1 介護職員処遇改善加算制度を平成27年4月1日以降も継続すること。
- 2 介護職員処遇改善加算事業の対象職種を拡大すること。

〈提出先〉内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣

本市への行政視察 (平成24年1月~12月)

No.	月日	県・市・町名	視察事項
1	2/7	群馬県みどり市	議会改革について
2	4/24	静岡県浜松市	ふるさと納税制度の取り組みについて
3	5/12	鹿児島県いちき串木野市	水産業全般について
4	5/16	京都府亀岡市	市立病院の経営健全化の取り組みについて、地域医療科の取り組みについて
5	5/30	秋田県	三浦市の水産業の現状及び「海の駅」設置等について
6	7/3	島根県松江市	市立病院の地域完結型医療の取り組みについて
7	7/6	岩手県奥州市	土地開発公社解散後の財産運用について
8	8/28	平塚市	胃がん検診の現状と新たな取り組みについて
9	9/10	南足柄市・箱根町	胃がんリスク検診について
10	10/18	石川県能登町	防災関係について
11	11/2	小田原市・開成町・湯河原町	胃がんリスク検診について
12	11/20	鳥取県米子市	土地開発公社の解散について

平成二十四年十月二十九日、三十日に総務経済常任委員会、十月三十一日、十一月一日に都市厚生常任委員会がそれぞれ行政視察を行いました。また、昨年一年間で、三浦市に行政視察で訪れた議会は、左の表のとおりです。

総務経済常任委員会
 静岡県藤枝市及び山梨県山梨市を訪問しました。藤枝市では、中心市街地活性化事業について、官民連携によるまちづくりの効果や課題、それらを踏まえた今後の計画の方向性などの説明を受けました。

都市厚生常任委員会
 富山県富山市及び高岡市を訪問しました。富山市では、障害の有無や年齢を問わずサービ



山梨市では、女子観光プロモーションチームについて、女子職員の視点やメンバーが所有する資格を活かした観光振興、地域活性化の取り組みなどの説明を受けました。

スを受けられる「富山型デイサービス」について、デイサービス「このゆびとーまれ」の施設見学などを交えながら研修を受けました。

高岡市では、歴史まちづくり計画についての説明を受け、その後、市内の歴史的風致と呼ばれる町並みなどの視察を行いました。



行政視察報告

議会の活動から

▼市役所若手職員との懇談会を実施しました
 十二月定例会の最終日に、議員と職員とのコミユニケーションの充実に、図ることを目的に、懇談会が開かれました。

本年度二回目の開催となる今回は、議員七名と主任級の職員十名が参加し、ランチミーティング形式により行われました。懇談会では、まず自由に会話をし打ち解けた後、職員一人一人から、この日のテーマである「議員に聞きたいこと」が述べられ、議員がこれに答えました。職員からは、生活保護費などの扶助費が増大している現状を問うものから、市内できれいだと思ふ風景、議員に立候補したきっかけなど、さまざま質問が投げかけられました。

また、議員から職員に対しても質問をしたり、将来の夢を語り合うなど、終始和やかな雰囲気です。懇談会は終了しました。



議会を傍聴しませんか

平成25年第1回定例会は、次の日程により開かれる予定です。

月 日	曜日	会 議 名 等
2月21日	木	招集告示
25日	月	議会運営委員会(日程・審議方法等決定)
28日	木	本会議(施政方針)
3月1日	金	本会議(一般質問)
4日	月	本会議(一般質問)
5日	火	本会議(一般質問)
6日	水	総務経済常任委員会
7日	木	都市厚生常任委員会
11日	月	予算審査特別委員会
12日	火	
13日	水	
14日	木	
15日	金	
18日	月	議会基本条例策定等特別委員会 財政問題等特別委員会
22日	金	本会議(委員長報告・採決)

◆お問い合わせは議会事務局へ

電話 046-882-1111 内線462・463

※請願・陳情の提出期限は2月22日(金)です。

委員会条例等の一部改正

◎三浦市議会委員会条例の一部を改正する条例

地方自治法の改正により、今まで法律で定められていた委員会委員の選出方法や委員の任期に関する事等について、各議会が条例で定めるように変更されたため、新しくこれらの規定を設けるほか、委員会での公聴会開催や参考人招致に関する規定を会議規則に移すなどの改正を行いました。

◎三浦市議会会議規則の一部を改正する規則

地方自治法の改正により、今まで委員会でのみ認められていた公聴会開催や参考人招致が本会議でもできるようになったため、本会議・委員会での公聴会開催と参考人招致に関する規定を新しく設けるなどの改正を行いました。

◎三浦市証人等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例

会議等への出席に対して支給される実費弁償(交通費など)の対象に、本会議で行う公聴会の公述人と、本会議に出席する参考人を加えるほか、地方自治法の改正により当条例に引用している法律の条・項が移動したため、これらを改めるための改正を行いました。

人事

市長より、人権擁護委員として法務大臣に推薦することにつき議会の意見を求める諮問が提出され、異議なき旨答申することに決しました。

人権擁護委員

熊谷 武矢氏

(原町)



本会議での議案等の審議結果

〈全員賛成で議決した議案〉

【議案】

- 第49号 専決処分の承認を求めることについて
- 第50号 三浦市奨学金貸付条例
- 第51号 三浦市小規模水道及び小規模受水槽水道における安全で衛生的な飲料水の確保に関する条例
- 第52号 三浦市指定地域密着型サービスに関する基準を定める条例
- 第53号 三浦市指定地域密着型介護予防サービスに関する基準を定める条例
- 第54号 三浦市市道の構造の技術的基準及び市道に設ける道路標識の寸法を定める条例
- 第55号 三浦市河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例
- 第56号 三浦市部設置条例等の一部を改正する条例
- 第57号 三浦市職員の旅費に関する条例等の一部を改正する条例
- 第59号 三浦市営住宅条例の一部を改正する条例
- 第60号 三浦市立児童館条例の一部を改正する条例
- 第63号 三浦市火葬場条例の一部を改正する条例
- 第64号 三浦市海業施設条例の一部を改正する条例
- 第65号 三浦市都市公園条例の一部を改正する条例
- 第66号 三浦市下水道条例の一部を改正する条例
- 第67号 三浦市水道事業給水条例の一部を改正する条例

- 第68号 平成24年度三浦市一般会計補正予算(第5号)
- 第70号 平成24年度三浦市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)
- 第71号 平成24年度三浦市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)
- 第72号 平成24年度三浦市市場事業特別会計補正予算(第1号)
- 第73号 平成24年度三浦市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)

【委員会提出議案】

- 第1号 三浦市議会委員会条例の一部を改正する条例
- 第2号 三浦市議会会議規則の一部を改正する規則
- 第3号 三浦市証人等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例

【意見書案】

- 第9号 安全・安心の医療・介護実現のため医師・看護師・介護職員などの大幅増員と夜勤改善を求める意見書
- 第10号 介護職員処遇改善加算の継続、拡充を求める意見書
- 第11号 社会福祉関係の県単独補助制度などの廃止に反対し、継続を求める意見書

【諮問】

- 第2号 人権擁護委員の推薦について

〈賛否が分かれた議案〉 ○賛成 ●反対

番号	件名	審議結果	みうら市政会						日本共産党			フォーラムみうら			公明党	無所属
			神田真弓	岩野匡史	出口真琴	草間道治	中谷博厚	石原正宣	石橋むつみ	立本真須美	小林直樹	寺田一樹	松原敬司	北川年一	藤田昇	出口正雄
【議案】第58号	三浦市市税条例の一部を改正する条例	原案可決	○	※議長は表決に加わらない	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○
第61号	三浦市老人福祉保健センター条例の一部を改正する条例	〃	○		○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○
第62号	三浦市廃棄物の減量化、資源化及び適正処理に関する条例の一部を改正する条例	〃	○		○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○
第69号	平成24年度三浦市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	〃	○		○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○